

政策シート 政策名 05 適切な伐採と流通の活性化

予算費目名 01 林業振興費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	<ul style="list-style-type: none"> ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

天竜美林の多面的機能の維持・拡大と林業・木材産業の成長産業化に向け、「浜松版グリーンレジリエンス」として、FSC森林認証制度に基づく持続可能かつ適切な森林管理と、天竜材を活用した新事業創出や天竜材の流通量及び販路を拡大する。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育	⑥水・衛生	⑧成長・雇用	⑨イノベーション	⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動	⑮陸上資源
-----	-------	--------	----------	-----	--------	-------	-------

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,099,314	1,037,580	1,285,341			
決算	950,817	973,010				
人件費(報酬等)(A)		1,611				
人件費(人工分)(B)	56,420	57,140	56,820			
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,007,237	1,031,761	1,342,161			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
年間木材生産量	m ³	目標	143,200	150,800	158,400	166,000	173,600	181,200
		実績	141,085	109,624				
森林経営計画 認定面積 (H24～累計)	ha	目標	18,400	19,600	20,800	22,000	23,200	24,400
		実績	21,083	18,101				
林業行政を総合的に推進する組織の設置		目標	-					設置(H30)
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

林業・木材産業の成長産業化に向け、低コスト林業の推進による作業道の開設や高性能林業機械の導入支援等を行った。また、非住宅建築物への木造・木質化に対する補助を拡充するとともに、新型コロナウイルス感染拡大を防止するための助成制度を設け、天竜材供給をはじめとした木材の地産地消を推進した。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
-------------------	------

令和元年度より配分された森林環境譲与税を活用し、林業従事者の育成・確保のため安全装備、人件費、健康診断等への補助を拡充した。
 林業・木材産業の成長産業化に向け、林道の維持補修、低コスト林業の推進による作業道の開設や高性能林業機械の導入支援等を行った。
 天竜材の流通量や利用拡大のため、新型コロナウイルス感染拡大を防止するための補助制度を設け、木材の地産地消を推進した。

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)	
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)		
1	林業従事者助成事業（補助金）	○	—	○	○								
2	林道等整備事業	—	—	—		525,671	504,671	3.0					
3	低コスト林業推進事業	○	—	○		479,448	475,908	0.3	0.4				
4	木材需要拡大事業	○	○	○		246,756	220,016	3.7				0.3	
5	スマート林業推進事業	—	—	—		11,060	10,000	0.1	0.1				
6	林業成長産業化推進事業	○	—	○		63,817	61,437	0.3				0.1	
7	森林環境基金積立金	—	—	—		3,703	3,003	0.1					
8	森林管理デジタル運営経費					1,241	541	0.1					
9	森林管理運営経費					10,465	9,765	0.1					
10													
11													
12													
13													
14													
15													
16													
17													
18													
19													
20													
21													
22													
23													
24													
25													
計						1,342,161	1,285,341	7.7	0.5		0.4		

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 林業従事者助成事業(補助金) 【完了】

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

林業認定事業体を対象とし、林業従事者の育成・確保を目的に、林業従事者が安心して作業ができる環境を整備する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	I-1(3)ウ						
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

							⑧成長・雇用	⑨イノベーション
事業とゴールの関連性	林業従事者が安心して作業ができる働きやすい環境を整えることで、林業従事者の雇用の確保・拡大につながる。							

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	8,750	7,871				
	決算	7,414	7,871				
	国・県支出						
	市債						
	その他	7,414	7,871				
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		1,400	1,060				
人工	正規	0.2	0.1				
	再任用(h31)		0.1				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		8,814	8,931				

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
森林組合作業班員数(人)			目標	200	200	200	200	200	200
			実績	166	R4.3頃				
新規就業者支援者数(R1~累計) (人)	I-1(3) ウ		目標	66	86	106	126	146	166
			実績	66	89				
新規就業者支援件数(人)			目標	20					
			実績	10					
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 01 基本政策 02 政策 05 予算費目 01 所属コード 001728000 事業 01 (担当課) 林業振興課 (責任者) 野沢 和好 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

林業技術者助成事業(補助金)

林業従事者の作業環境の整備と新規就業者の確保のため、認定事業体が負担する経費を支援する。

・林業従事者安全装備品等支援事業

安全対策に必要な装備品等の購入に係る経費を支援

(防護ズボン、チャプス、作業服、ヘルメット、チェーンソー 等)

講習会(安全教育・技能習得)等への参加及び健康診断(振動・蜂アレルギー特殊健診)に係る経費を追加支援

・新規就業者支援事業

新規就業者の給料等を支援(採用から3年間)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

令和元年度から森林環境譲与税を活用し、講習会(安全教育・技能習得)等への参加及び健康診断(振動・蜂アレルギー特殊健診)に係る経費を追加支援することで、認定事業体への支援を拡充して実施した結果、林業従事者の労働環境の改善に繋げることができた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

森林組合のみにしていた補助対象を、H30年度からは認定事業体に拡充して実施した。

「林業従事者安全装備品等支援事業」のうち講習会(安全教育・技能習得)等への参加及び健康診断(振動・蜂アレルギー特殊健診)に係る経費を追加支援することで事業を拡充し、森林環境譲与税を活用した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

林業従事者助成事業(補助金)は、(新規)天竜材人材育成・担い手確保事業(林業従事者の安全対策等に対する助成)に変更となり、大事業:04木材需要拡大に組み込まれた。指標はそのまま引き継ぐ。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

林業技術者助成事業(補助金)

林業従事者の作業環境の整備と新規就業者の確保のため、認定事業体(or意欲と能力のある林業経営者)が負担する経費を支援する。

○林業従事者安全装備品等支援事業

・安全対策に必要な装備品等の購入に係る経費を支援

(防護ズボン、チャプス、作業服、ヘルメット、チェーンソー 等)

・林業技術者振動障害対策支援、林業技術者技能習得研修等支援

○新規就業者支援事業

・新規就業者の給料等を支援(採用から3年間)

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	01	001728000	02	林業振興課	野沢 和好	R3.7.1

事業シート (事業名) 02 林道等整備事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

林業振興や森林の多面的機能の持続的発揮、山村地域の振興などを目的に、林内道路網の整備と維持管理を行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

				⑥水・衛生		⑨イノベーション
		⑬気候変動	⑮陸上資源			
事業とゴールの関連性	林道等の整備を進めることで素材生産量の拡大につながるるとともに、生産するために必要な林業従事者の雇用の創出につながる。					

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	625,392	563,693	504,671			
	決算	568,632	565,888				
	国・県支出	137,865	97,187	124,305			
	市債	192,800	169,600	168,900			
	その他	24,878	94,419	38,259			
	一般財源	213,089	204,682	173,207			
	一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		20,300	21,000	21,000			
人工	正規	2.9	3.0	3.0			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		588,932	586,888	525,671			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
林内道路密度(m/ha) ※(公道延長+林道延長)÷民有林面積			目標	24.4	24.6	25.8	25	25.2	25.4
			実績	23.3	23.3				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

林内道路網を充実するため、国庫補助等を活用し以下の事業を行った。

- ①公共林道整備事業(国庫補助)／国庫補助により林道の開設及び改良等
【決算:79,940千円(うち前年度繰越:27,140千円)】
- ②県営林道整備促進支援事業(負担金)／県が施工する林道の整備等に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出する。【決算:57,552千円】
- ③県単独林道整備事業／県単独補助により林道の改良等
【決算:129,797千円(うち前年度繰越:4,502千円)】
- ④市単独林道整備事業／国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等【決算:38,993千円】
- ⑤林道維持補修事業／市内の林道(204路線 約700km)を維持管理
【決算:242,706千円(うち前年度繰越:78,525千円)】
- ⑥林業専用道整備事業／国庫補助等を活用し、林道規程2級に相当する林道専用道の整備
【決算:16,900千円(うち前年度繰越:一千円)】



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題
 指標の達成度 **実績**

①公共林道整備事業(国庫補助)／	林道開設2路線
②県営林道整備促進支援事業(負担金)／	林道開設3路線、改良・舗装1路線
③県単独林道整備事業／	改良15路線、舗装1路線
④市単独林道整備事業／	舗装・その他4路線
⑤林道維持補修事業／	林道橋長寿命化工事・点検、小規模修繕等
⑥林業専用道整備事業／	整備1路線

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)
 大項目 小項目 / 事業費 人工

令和元年度は概ね順調に事業執行ができたものの、地権者との交渉等が難航した一部の路線で翌年度繰越になる路線が発生した。
 林道の緊急点検結果(令和元年度)を受け、38カ所の修繕を実施した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)
 大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・林道・林業専用道の整備については、国及び県補助金を活用し計画的に事業を進めていく。
- ・市単独事業については、計画的に事業を進めていく。
- ・林道白倉山線陥没を受けた緊急点検で判明した危険箇所を令和2年度までに早急に補修する。
- ・森林整備や運搬コスト削減に資する林道整備は森林環境譲与税を活用する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

林内道路網を充実するため、国庫補助等を活用し以下の事業を行う。

- ①公共林道整備事業(国庫補助)／国庫補助により林道の開設及び改良等を行う。
- ②県営林道整備促進支援事業(負担金)／県が施工する林道の整備等に対し、静岡県建設事業市町村負担金条例により負担金を支出する。
- ③県単独林道整備事業／県単独補助により林道の改良等を行う。
- ④市単独林道整備事業／国庫補助及び県単独補助の対象にならない林道の改良等を行う。
- ⑤林道維持補修事業／市内の林道(204路線 約700km)を維持管理する。
- ⑥林業専用道整備事業／国庫補助等を活用し、林道規程2級に相当する林業専用道を整備する。

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	01	001728000	03	林業振興課	野沢 和好	R3.7.1

事業シート (事業名) 03 低コスト林業推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

効率的な林業経営の推進を目的に、森林施業の集約化に不可欠な林内路網(作業道、作業路、索道)整備や素材生産コストの低減に向けた林業機械導入等を支援する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	I-1(1)I						
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		⑬気候変動	⑮陸上資源						
事業とゴールの関連性	高性能林業機械導入や作業道開設などによる効率的な持続可能な林業経営を推進することで、気候変動や自然災害に対する強靱性を高める。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	88,445	124,470	475,908			
	決算	67,963	91,891				
	国・県支出	18,146	46,040	405,908			
	市債						
	その他	16,163	45,851	70,000			
	一般財源 一般会計繰入金	33,654					
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		6,000	4,600	3,540			
人工	正規	0.6	0.4	0.3			
	再任用(h31)	0.5	0.5	0.4			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		73,963	96,491	479,448			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
年間木材生産量(m³)	I-1(1) I		目標	143200	150800	158400	166000	173600	181200
			実績	141083	109624				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	01	001728000	03	林業振興課	野沢 和好	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ①林業機械・施設緊急整備事業(補助金)【決算:46,040千円(うち前年度繰越:28,420千円)】
「合板・製材生産性強化対策事業」及び「水土保全森林緊急間伐対策事業費補助金」の採択を受けた林業関係団体が行う高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等を支援
- ②低コスト林業推進助成事業(補助金)
林道規程に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

①林業機械・施設緊急整備事業(補助金)

木材乾燥機 1台 28,420千円
グラップル付トラック 1台 9,970千円 グラップル付フォワーダ 1台 7,650千円

②低コスト林業推進助成事業(補助金)

(作業道開設) 13路線 施工延長L=4,061m 補助金額 13,290千円
(作業道補修) 19路線 施工延長L=8,313m 補助金額 9,060千円
(作業路開設) 20路線 施工延長L=9,160m 補助金額 14,381千円
(索道設置) 5箇所 補助金額 9,120千円

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・林業機械等整備事業は、国の動向等を見極めつつ事業を執行した。
- ・低コスト林業推進事業(補助金)では、コロナウイルス感染症の市場動向によりインフラ投資が抑制され申請数が低調に終わった。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・低コスト林業推進事業(補助金)を森林環境譲与税の充当事業に位置付け、路網整備を通じた作業の低コスト化を図っていく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

①林業機械・施設整備事業(補助金)

「林業・木材産業構造対策事業費補助金」や「中山間地域林業整備事業費補助金」の採択を受けた林業関係団体が行う高性能林業機械の導入及び木材加工・流通施設整備等を支援する。

②低コスト林業推進助成事業(補助金)

林道規定に該当しない森林所有者が行う作業道、作業路及び索道の開設を支援する。

事業シート (事業名) 04 木材需要拡大事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

林業・木材産業の成長産業化を目的に天竜材(FSC認証材)の「地産地消」、「地産外商」を推進する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	I-1(1)エ	I-1(1)オ	I-1(3)ウ				
重点戦略	<input type="radio"/>	(戦略項目)	51	54					

(4) 関連するSDGsのゴール

			④教育		⑥水・衛生		⑧成長・雇用	⑨イノベーション
⑪都市	⑫生産・消費	⑬気候変動		⑮陸上資源				
事業とゴールの関連性	適切かつ効率的な木材利用を進めるとともに、安心で質の高い教育・学習環境を提供することで、安全かつ強靱で持続可能な都市を実現する。							

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	253,206	251,572	220,016			
	決算	207,217	220,378				
	国・県支出	4,500	5,270	5,750			
	市債						
	その他	26,628	36,463	107,409			
	一般財源	176,089	178,645	106,857			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	24,520	25,920	26,740			
人工	正規	3.4	3.6	3.7			
	再任用(h31)	0.2	0.2				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.3			
年間経費(予算又は決算+A+B)		231,737	246,298	246,756			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
森林経営計画 認定面積(H24~累計)(ha)			目標	18,400	19,600	20,800	22,000	23,200	24,400
			実績	21,083	18,101				
地域材利用建築件数(棟) ※天竜材の家百年住居の助成事業助成棟数			目標	250	250	250	250	250	250
			実績	146	131				
木材・木製品製造業 製造品出荷額(億円/年)	I-1(1)	才	目標	450	300	300	350	400	450
			実績	R3.8頃	R4.8頃				
FSC認証材生産量(m³/年)		51	目標	103,000	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
			実績	67,048	R3.8頃				
天竜材の利用拡大に向けた連携数(都市・団体)	I-1(1)	才	目標	4	4	5	5	5	6
			実績	5	5				

(管理番号)											
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)		
	01	02	05	01	001728000	04	林業振興課	野沢 和好	R3.7.1		
森林組合作業班員数(人)						目標	200	200	200	200	
						実績	166	R4.3頃			
新規就業者支援者数(R1～累計)(人)	I-1(3) ウ						目標	66	86	106	126
							実績	66	89		
新規就業者支援件数(人)						目標	20				
						実績	10				

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

【R1-R4重点戦略項目 No.51・No.54】

- ①天竜材の家百年住居の助成事業／天竜材の利用拡大を目的に、市内で天竜材を一定量以上使用した建築主に対し、建築費の一部を助成する。
- ②天竜材ぬくもり空間創出事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、非住宅建築物をFSC認証材を利用して木質化した施主に対し、材料費の一部を助成する。
- ③森林整備・林業振興事業／森林組合や森林所有者が行う森林整備(造林、保育、間伐、搬出等)を支援する。
- ④天竜材流通・販路拡大事業／天竜材の流通量及び販路拡大に取組む事業を支援する。
- ⑤森林活用等都市間連携事業／首都圏等の大都市との連携を促進する。
- ⑥森林環境教育推進事業／森林・林業に対する理解増進、森林環境意識を醸成するため森林環境教育を実施する。
- ⑦FSC認証材利用拡大推進事業／FSC認証材の普及啓発のための大手企業との連携、PRグッズの作成等の各種事業を実施。
- ⑧木の癒し公共空間創出・実証事業／本庁舎の木質化(リノベーション)を実施し、木の癒し効果を市民にPRする。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ①天竜材の家百年住居の助成事業／支援件数:131棟(FSC追加助成=79棟)
- ②天竜材ぬくもり空間創出事業／支援件数:21件
- ③・森林環境保全直接支援、美しい森林づくり基盤整備／間伐等、森林整備に要する経費を支援
 - ・合板・製材生産性強化対策事業(TPP対策)／間伐に要する経費を支援
 - ・林業・木材産業成長産業化促進対策事業、浜松型林齢平準化促進事業／主伐に関する植林・搬出等に関する経費を支援
- ④天竜材海外輸出支援事業／海外に向けて木材輸出の支援
- ⑤森林活用等都市間連携事業／首都圏の都市や学校との連携事業を実施
- ⑥森林環境教育推進事業／森林環境教育プログラムの受入れ体制の運営やPRを実施
- ⑦FSC認証材利用拡大推進事業／ラッピングバス・ノベルティ製作に普及啓発等
- ⑧木の癒し公共空間創出・実証事業／本庁舎の木質化(リノベーション)を実施し、木の癒し効果を市民にPR。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・森林環境譲与税を活用し、引き続き、森林整備を促進するための主伐に対する助成制度や都市間連携・森林環境教育に関する事業を推進するとともに新たに市役所庁舎の木質化(リノベーション)を実施した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・一部の事業で統合・廃止をし、再構築を図る。
- ・支援件数等の目標に達していない事業費を見直すとともに、より活用しやすい制度とするよう見直しを図る。

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	01	001728000	04	林業振興課	野沢 和好	R3.7.1

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)



- 【R1-R4重点戦略項目 No.51・No.54】
- ①天竜材の家百年住居助成事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、市内で天竜材(FSC認証材)を一定量以上使用した建築主に対し、建築費の一部を助成する。
 - ②天竜材めぐり空間創出事業／天竜材(FSC認証材)の利用拡大を目的に、非住宅建築物をFSC認証材を利用して木質化した施主に対し、材料費の一部を助成する。
 - ③森林整備・林業振興事業／林業事業者や森林所有者が行う森林整備(造林、保育、間伐、主伐、搬出等)を支援する。
 - ④天竜材流通・販路拡大事業／天竜材の流通量及び販路拡大に取り組む事業を支援する。
 - ⑤森林活用等都市間連携事業／首都圏等の大都市との連携を促進する。
 - ⑥森林環境教育推進事業／森林・林業に対する理解増進、森林環境意識を醸成するため森林環境教育を実施する。
 - ⑦FSC認証材利用拡大推進事業／FSC認証材の普及のための大手企業との連携、PRグッズの作成等の各種事業を実施。
 - ⑧(新規)オリンピック・パラリンピックレガシー創造事業／選手村で使用された天竜材PRなどで天竜材の認知度向上を図る。
 - ⑨(新規)天竜材人材育成・担い手確保事業／技術力向上や担い手確保等を目的とした支援を実施。

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	01	001728000	05	林業振興課	野沢 和好	R3.7.1

事業シート (事業名) 05 スマート林業推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

林業、林道に関する情報のデジタル化により、情報管理の高度化並びに省力化及び生産性を向上を促進し、木材生産の増加を目指す。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R3	-	一般会計	自治事務(その他)	林道規程

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

				⑥水・衛生				
		⑬気候変動		⑮陸上資源				
事業とゴールの 関連性	林道等の整備により木材生産が拡大し、森林環境の維持・向上に貢献できる。							

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			10,000			
	決算						
	国・県支出						
	市債						
	その他			10,000			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)			1,060			
人工	正規			0.1			
	再任用(h31)			0.1			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)				11,060			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
林道情報のデジタル化(km)			目標	-	-	30万	30万	30万	
			実績	-	-				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 01 基本政策 02 政策 05 予算費目 01 所属コード 001728000 事業 05 (担当課) 林業振興課 (責任者) 野沢 和好 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

・林道情報のデジタル化に関する研究



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・デジタルファースト宣言(市)によるデジタル化の促進



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 収集・分析 / 情報発信 事業費 拡大 人工 現状

・林道情報のデジタル化を進めることで、災害の発生状況を早期に把握・対応するとともに、通行止め等の交通情報を住民に対して迅速に周知する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

・林道管理システムの構築(台帳デジタル化) 3,300千円
・マッピングGISデータ取得(レーザー測量) 6,700千円(16路線160km)

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	01	001728000	06	林業振興課	野沢 和好	R3.7.1

事業シート (事業名) 06 林業成長産業化推進事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

地域の「素材生産」、「製材・加工」、「木材流通」のキープレイヤーが一体となり、素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大、新規雇用を創出し、林業・木材産業の成長産業化につなげる。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H29	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法等

(3) 事業の位置付け

主要事業	○	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	○	(施策)	I-1(1)I						
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

								⑧成長・雇用	⑨イノベーション
事業とゴールの関連性	素材生産量の拡大や木材の安定供給体制の確立、天竜材製品の生産・販売量の拡大、新規雇用を創出し、林業・木材産業の成長産業化につなげることは、持続可能な経済成長と産業化の促進及びイノベーションの推進を図るものである。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	77,289	40,442	61,437			
	決算	56,246	40,136				
	国・県支出	56,166	40,085	61,250			
	市債						
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	80	51	187			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,100	2,460	2,380			
人工	正規	0.3	0.3	0.3			
	再任用(h31)		0.1				
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)			0.1			
年間経費(予算又は決算+A+B)		58,346	42,596	63,817			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
年間木材生産量(m³)	I-1(1) I		目標	143,200	150,800	158,400	166,000	173,600	181,200
			実績	141,085	109,624				
FSC認証材生産量(m³)		51	目標	103,000	111,000	119,000	127,000	135,000	143,000
			実績	67,048	R3.8頃				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

構想5カ年の4年目となる令和2年度は、参画事業者が行う2件のソフト事業、2件のハード事業を支援する。

- ソフト事業
 - ・天竜材知育玩具等の製品開発(永田木材㈱)、人材育成システムの導入(㈱鈴三材木店)
- ハード事業
 - ・木材加工流通施設ジョインターの導入(鹿島木材㈱)、木材加工流通施設モルダラーの導入(永田木材㈱)



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

参画事業者が行う2件のソフト事業、2件のハード事業を支援した。

- ソフト事業
 - ・天竜材知育玩具等の製品開発(永田木材㈱) 2,610千円
 - ・人材育成システムの導入(㈱鈴三材木店) 2,500千円
- ハード事業
 - ・木材加工流通施設ジョインターの導入(鹿島木材㈱) 20,000千円
 - ・木材加工流通施設モルダラーの導入(永田木材㈱) 14,975千円

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・構想に掲げた令和2年度分のソフト2件、ハード整備2件の事業を支援した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・引き続き計画どおり進めることで、構想で掲げる目標値の達成を目指していく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

浜松地域林業成長産業化地域構想への参画事業者が行う事業を支援する。

- ・参画者：素材生産者、製材・加工事業者、流通業者、森林育成事業者等
- ・将来像：「多様なFSC認証製品の流通拡大によるグリーンウッド社会の実現」
- ・目標：素材生産量1.5倍以上増加、製材品生産量1.3倍以上増加、製品販売量1.5倍以上増加、新規雇用者70人など（5年間累計）
- ・取組：
 - ① 品質の高い原木の増産及び需要に応じた原木の安定供給
 - ② 需要に応じた付加価値の高い天竜材製品の開発・生産
 - ③ 「地産地消」・「地産外商」の2方向による天竜材の流通・販路の拡大
 - ④ 需要に応じた川上から川下までの最適なサプライチェーンの強化・再構築
 - ⑤ 次代の林業・木材産業を担う人材の育成

事業シート (事業名) 07 森林環境基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

森林、河川等の自然環境を守り育て、森林の公益的機能を維持増進し、併せて林業の振興を図るため、平成18年4月に創設した「浜松市森林環境基金」への積立を適正に行う。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	浜松市森林環境基金に関する条例

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

	①都市	②生産・消費	③気候変動	④教育	⑤陸上資源	⑥水・衛生
事業とゴールの関連性						
	基金は、森林、河川等の自然環境を守り育てるための事業、森林の有する公益的機能を維持増進するための事業及び林業の振興を図るための事業に要する経費に充てるため、さまざまな持続可能な開発目標とリンクしている。					

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	34,896	34,315	3,003			
	決算	34,646	34,314				
	国・県支出						
	市債						
	その他	34,646	34,314	3,003			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	700	700	700			
人工	正規	0.1	0.1	0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		35,346	35,014	3,703			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 01 基本政策 02 政策 05 予算費目 01 所属コード 001728000 事業 07 (担当課) 林業振興課 (責任者) 野沢 和好 (基準日) R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

○基金への積立

- ・寄附金 11件及び寄付金箱 2,999千円
- ・利子 48千円
- ・森林環境譲与税 31,887千円

○基金の効果的な活用

- ・7事業 9,845千円

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度 達成

森林環境基金への寄付金及び基金の運用収入、森林環境譲与税を基金に積み立てることで、森林環境基金活用事業の財源として活用した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 改善 小項目 財源創出 / 事業費 現状 人工 現状

- ・近年の寄附額の実績に基づいた予算額に見直した。
- ・令和元年度から始まった森林環境譲与税の一部を積立て、後年度の事業に充当することとした。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 現状 小項目 / 事業費 現状 人工 現状

- ・森林環境譲与税について、将来の事業量増加に備えて計画的に森林環境基金へ積立てを行う。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

○基金への積立

- ・市民や企業からの寄附金を基金に積立てる。
- ・基金の運用益を基金に積立てる。
- ・森林環境譲与税を基金に積み立てる。

○基金の効果的な活用

- ・基金事業所管課と連携を図り、基金の効果的な活用を図る。

事業シート (事業名) 08 森林管理デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。								
総合戦略	(施策)								
重点戦略	(戦略項目)								

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			541	0	0	0
	決算	0	0				
	国・県支出						
	市債						
	その他			541			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	0	0	700	0	0	0
人工	正規			0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		0	0	1,241	0	0	0

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

--

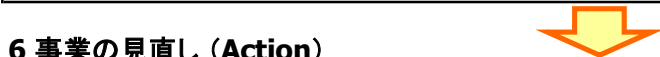


5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

--

事業シート (事業名) 09 森林管理運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

--

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等

(3) 事業の位置付け

主要事業	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業 及び 政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。								
総合戦略	(施策)								
重点戦略	(戦略項目)								

(4) 関連するSDGsのゴール

事業とゴールの 関連性									
----------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	11,336	15,217	9,765			
	決算	8,699	12,532				
	国・県支出						
	市債						
	その他	171	5,611	229			
	一般財源	8,528	6,921	9,536			
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)		1,611				
	人件費(人工分)(B)	1,400	1,400	700			
人工	正規	0.2	0.2	0.1			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		10,099	15,543	10,465			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
01 02 05 01 001728000 09 林業振興課 野沢 和好 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

--



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

--



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)



※人件費(報酬等)は、会計年度任用職員報酬を計上

--

政策シート 政策名 05 適切な伐採と流通の活性化

予算費目名 02 林業施設災害復旧費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 01 産業経済

理想の姿 (30年後)	◆創造性と安定性を兼ね備えた浜松の産業が、世界経済を支えている。
政策の柱 (10年後)	<ul style="list-style-type: none"> ◆輸送用機器関連産業に次ぐ新たなリーディング産業が集積し、持続可能な地域経済が確立している。 ◆来訪者が浜松の魅力とおもてなしを実感し、リピーターが増えている。 ◆多様な担い手による付加価値の高い農林水産業が行われている。

基本政策 02 作業から経営に！ 変革を遂げる農林水産業

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設（林道及び付帯施設）を復旧する。

(3) 関連するSDGsのゴール

⑥水・衛生	⑨イノベーション	⑬気候変動	⑮陸上資源				
-------	----------	-------	-------	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	260,000	820,000	310,000			
決算	312,483	305,247				
人件費(報酬等)(A)						
人件費(人工分)(B)	2,100	2,100	2,100			
年間経費(予算又は決算+A+B)	314,583	307,347	312,100			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
災害復旧工事の着工率	%	目標	100	100	100	100	100	100
		実績	100	99				
		目標						
		実績						

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設（林道及び付帯施設）を復旧する。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<p>令和元年度は、国庫補助災害1路線(1箇所)、単独災害99路線(184箇所)と災害の発生は少なかったものの、入札不調により、令和元年度で国庫補助災害2路線(3箇所)の事業を行った。平成30年度からの繰越事業(国庫補助災害7路線8箇所、単独災害1路線1箇所)が多く、対応に事業費や事務作業・人工等を要した。</p>	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	林業施設災害復旧事業	—	—	—		312,100	310,000	0.3				
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						312,100	310,000	0.3				

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	01	02	05	02	001728000	01	林業振興課	野沢 和好	R3.7.1

事業シート (事業名) 01 林業施設災害復旧事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

暴風雨、洪水、地震等の異常な自然現象によって損害を受けた林業用施設(林道及び付帯施設)を復旧する。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
H18	-	一般会計	自治事務(その他)	森林法、森林・林業基本法、農林水産業施設災害復旧事業費国庫補助の暫定措

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

				⑥水・衛生		⑨イノベーション
		⑬気候変動		⑮陸上資源		
事業とゴールの関連性	異常な自然現象によって受けた被害を復旧することは、持続可能な森林経営等につながる。					

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	260,000	820,000	310,000			
	決算	312,483	305,247				
	国・県支出	125,255	34,060	136,500			
	市債	7,200	41,900	122,600			
	その他						
	一般財源 一般会計繰入金	180,028	229,287	50,900			
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)		2,100	2,100	2,100			
人工	正規	0.3	0.3	0.3			
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		314,583	307,347	312,100			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
災害復旧工事の着工率(%)			目標	100	100	100	100	100	100
			実績	100	99				
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
01 02 05 02 001728000 01 林業振興課 野沢 和好 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ①国庫補助 災害復旧事業【決算見込:72,810千円(うち前年度繰越:16,680千円)】
国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行った。
②市単独 災害復旧事業【決算見込:232,437千円】(うち前年度繰越:15,120千円)
市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行った。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1)事業の成果と課題

指標の達成度

令和2年度は、国庫補助災害4路線(5箇所、うち1箇所が入札不調による未契約)及び単独災害73路線(113箇所)となった。令和元年度からの繰越事業(国庫補助災害1路線1箇所)については、資材の高騰などにより相応の事業費や事務作業・人工等を要した。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・災害発生後、早期に対応したことにより発生した災害は可能な限り着工することができた。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

災害が発生した場合には、市民生活や林業経営の維持のため、早期着手・早期完了を目指していく。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ①国庫補助 災害復旧事業
国庫補助により、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。
②市単独 災害復旧事業
市単独事業として、林業用施設(林道及び付帯施設等)の災害復旧事業を行う。